

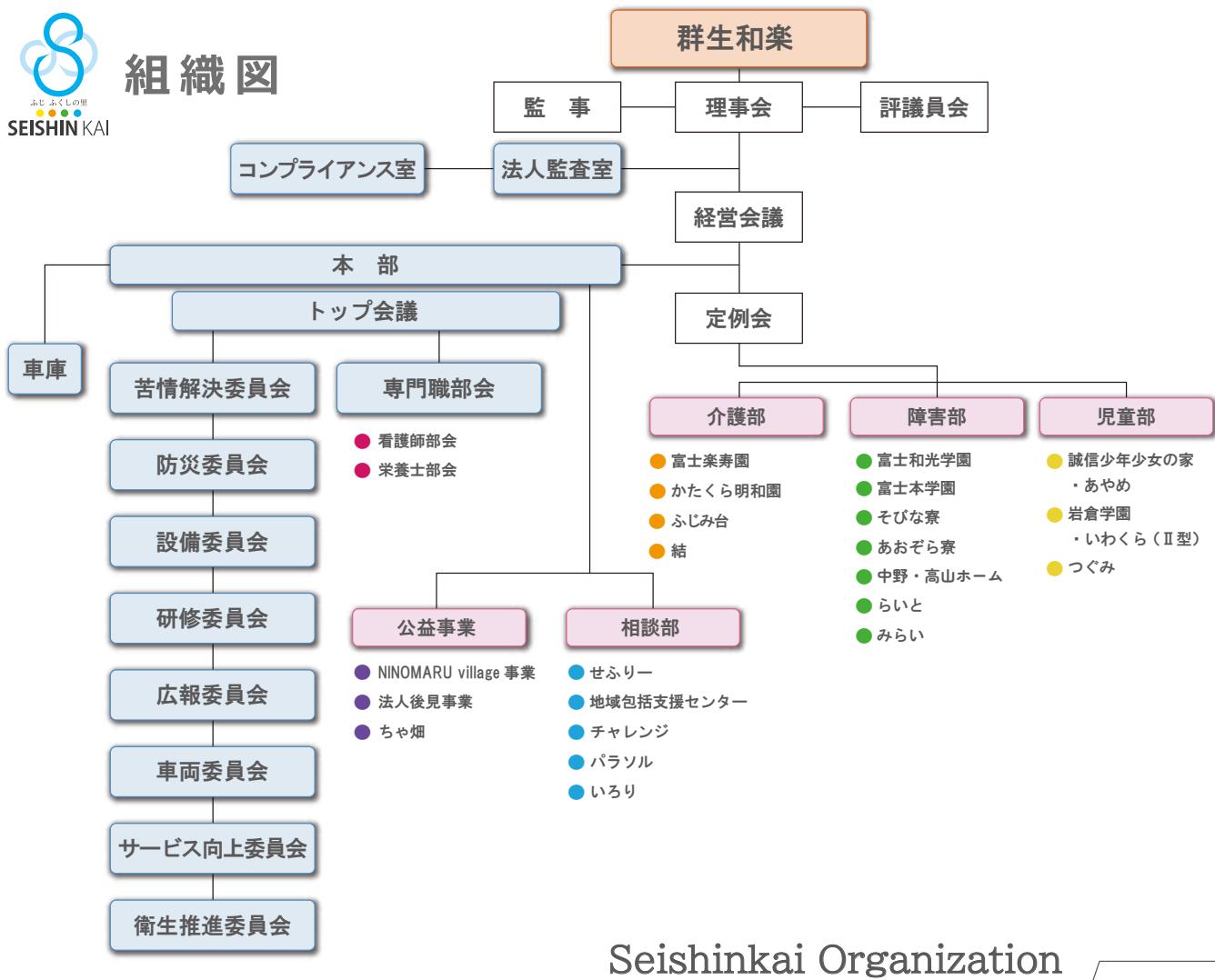
2025

社会福祉法人 誠信会

誠信会レポート



組織図



Seishinkai Organization



Contents

- 1 理事長挨拶
- 2 本部レポート
- 3 地域公益事業
- 4 児童部レポート (少年少女・あやめ・つぐみ・パラソル)
- 5 児童部レポート (岩倉学園)
- 6 介護部レポート (富士楽寿園)
- 7 介護部レポート (かたくら明和園)
- 8 介護部レポート (ふじみ台・地域包括支援センター)
- 9 介護部レポート (結)
- 10 障害部レポート (富士和光学園)
- 11 障害部レポート (富士本学園)
- 12 障害部レポート (そびな寮・あおぞら寮)
- 12 障害部レポート (中野・高山ホーム・チャレンジ)
- 13 障害部レポート (くろ一ばー)
- 14 2024年度決算報告①
- 15 2024年度決算報告②
- 16 2024年度決算報告③/年間スケジュール
- 17 ボランティア/寄付
- 18 数字でみる誠信会



新たな領域へ

社会福祉法人 誠信会
理事長 長谷川 文徳

誠信会は、新たな領域への展開を目指します。

さて、本年度は平成12年に介護保険制度がスタートして25年を迎える年になります。

振り返れば、その時から社会福祉法人には「措置から契約へ」「運営から経営へ」と大きな転換が求められました。

そして、社会福祉法人には民間企業等とのイコールフッティング、内部留保、税制優遇などへの批判が相次ぎ、平成29年には社会福祉法人制度改革が施行され『社会福祉事業の担い手としてふさわしいか』が問われました。

しかし、その後も社会福祉法人の不祥事や不安定な経営状態が報告されるなど大きな問題が生じています。これらのことからも社会福祉法人は、新しく生まれ変わる必要があると考えます。

従って、今後の社会福祉法人は変わり切れない措置制度から続く施設運営から多角化・多機能化した法人経営へと新たな領域への展開が必要になります。

これらを踏まえ本年度は、人財の確保として「外国人雇用の推進」「人的資本投資」、多様化・複雑化する福祉ニーズへの対応として地域が抱える課題への「包括的支援」、経営基盤の充実として社会福祉事業だけでなく公益事業や収益事業の展開をして「総合的社会事業」を行います。

また、法人のガバナンス対策としては「DX化」「人事制度強化」「第三者評価受審」を進めてまいります。そして、とくに2032年（令和14年）に迎える創立70周年に向けて中長期計画「STRATEGIC VISION 70（戦略的ビジョン70）」の策定を図ります。

これは、今後の誠信会の羅針盤となるものです。

以上を事業の柱とし本年度を「新たな領域へ」の一歩と致しますのでよろしくお願ひします。

さて、これから社会福祉法人には、生産年齢人口が減少する中で働き手の育児や介護の負担をサポートするなど、地域住民が安心して住めるよう社会基盤を支えていくことがより一層求められます。

これからも誠信会が地域の日常生活を維持するために不可欠な存在として認められるよう社会福祉事業を努めてまいりたいと考えますので、関係者及び職員の皆様には御協力をお願いいたします。

採用

令和6年度の採用活動においては様々な説明会や出会いのきっかけを通して多くの求職者へ誠信会の魅力と福祉のやりがいを伝え、誠信会で働くイメージを強く持ってくれた新卒採用13名、中途採用5名、外国人採用1名の方が今年度新たに法人の仲間として加わりました。

誠信会では、「わたし×ふくしでこの街をもっと笑顔に」をコンセプトに富士市の発展や地域に貢献できる人材を採用していきたいと思います。地域に向けた取り組みをより積極的に伝えていくことで福祉と地域の魅力を掛け合わせた活動に共感してもらい、また外国人採用では日本語と福祉の技術の習得を法人全体でサポートすることで、全ての人々が幸福に暮らすことができる地域社会作りの一助となれるようしていきたいと思います。



1.2年目職員合同研修



外国人材入社式

地域交流

令和6年度も誠信会はさくらまつりや玉泉寺夏祭り、観音祭り、植花祭などの様々なお祭りを開催してきました。

また富士山の登山ルート上を清掃するジヤトコクリーン作戦や「走って笑って健康に」をテーマに富士市の活性化を図るフジ・ティラノ DASH!、地域の子ども達や大人たちが気軽に集まり交流できる「居場所ちや畑」といった活動を通して、富士市の環境整備やにぎわいづくりにも関わっています。

これからも地域に暮らす人たちが自然に集まり、笑顔になれるような場所をつくることを目指して頑張っていこうと思います。



フジ・ティラノ DASH!



第11回さくら祭り

NINOMARU village 事業

私たちは「健康×福祉×地域振興」を目標に地域活性化に向け NINOMARU village 事業を掲げ、サイクリング事業やキャンプ事業に取り組んでいます。2024年11月11日には大淵地区で「にのまるキャンプ場」をオープンしました。自然豊かな土地で静かなキャンプ場を目指し少しづつ進展させていきます。

また、インバウンドをターゲットとした外国人向けの自転車ガイドツアーも始めました。着々と外国人の利用者も増え、富士市の魅力をお伝えできているかと思います。

これからも NINOMARU village 事業を発展できるよう試行錯誤を繰り返し、様々な取り組みを実施していきます。



にのまるキャンプ場



インバウンド自転車ガイドツアー

法人後見

令和2年12月から社会的課題を鑑み検討を開始し、令和6年から1件の後見類型を受任し活動を継続しています。法人後見ならではのきめ細かい被後見人への支援と関係機関との密な情報共有を意識しております。後見活動が適切に行えているか、外部の弁護士、司法書士、社会福祉士による運営委員会も開催し、より安心できる扱い手としての取り組みも実施しています。

また、第2期の法人後見支援員養成研修も実施し、社会福祉士国家資格を保有している職員が活躍できる場をつくってきました。

今後も引き続き、誠信会の「分野にこだわらない展開」を強みに後見活動を展開してまいります。

【法人後見事業を実施しての感想】

- ・普段やっている職種と立場が違う為、より本人の代弁者としてどのような人生を歩んでいけるのかを考えることが多い。
- ・法人後見のメリットは複数の視点が入ることでベストの考えが生まれ、何かあったときにも分野関係なく共有ができる。
- ・一人で背負わなくても良く、複雑なケースであっても継続できるところが強み。

児童部レポート

誠信少年少女の家・あやめ

*施設長：中山 剛

施設に求められる機能が変わってきた社会の中で、施設のあり方を見直すとともに職員一人ひとりの資質の向上に努めた1年でした。具体的には多様な個性を持った入所児童をサポートしていくために職員間で協議を重ね、令和7年度から定員を20名とすることとしました。また、県外の児童福祉施設へ視察研修に出向き、子どもとの関わりについて視野を広げることにつなげることができました。

入所児童推移

	令和5年度	令和6年度
入所	7名	2名
退所	5名	3名
年度未児童数	18名	17名

子育て支援事業等の利用実績

(年間延べ利用日数)

	令和5年度	令和6年度
一時保護	386日	535日
ショートステイ	303日	362日
トワイライトステイ	86日	74日



つぐみ

コロナ禍ではできなかった地域の皆様をお招きしてのイベント開催を実施することができ、改め皆様に支えられていることを実感した1年となりました。引き続き“開かれた保育”を念頭に置いて運営をしていきます。

一時預かり利用実績（月平均利用児童数）

	令和5年度	令和6年度
一時預かり	33.3人	38.3人



パラソル

子育て相談、里親支援機関として、ケース一つ一つに丁寧に関わることを大切にした1年でした。また、『里親支援センター いろり』の開設準備をすすめ、無事に令和7年4月に開設することができました。

相談支援実績（月平均）

	令和5年度	令和6年度
相談支援件数	1,988件	2,234件
里親支援件数	2,137件	2,524件



児童部レポート

岩倉学園

*施設長：田中 信哉

岩倉学園では、令和8年度の地域小規模児童養護施設の開設に向け、令和6年度は建設予定地の取得や建築の着工などのハード面において、移行先となる地域の方々のご理解やご協力を賜り、大きく歩みを進めることができた1年となりました。

ソフト面の要となる職員においては、地域小規模児童養護施設への移行を見据え、人材育成を目的とした計画的な研修計画の作成と実際の受講を通し、自身の成長と現場へのアウトプットに繋げることができました。

また、施設として、子どもがより「まんなか」にある支援のあり方を検討する中で、毎月子どもに対しておこなっている「生活アンケート」という名称の満足度調査をより有効にするためのシステムづくりをおこないました。期待される成果はこれからですが、この取組が、子どもの意見や要望に対する職員の向き合い方に良い影響を与えることができています。

子どもたちにおいては、おかげ様で大きな病気をすることなく、それぞれに日々の生活を懸命に送っています。その中で、良いこともそうでないことも成長の糧とし、職員とともに一つひとつ乗り越えていくことができました。

令和7年度は地域小規模児童養護施設への移行前年度として、職員と子どもたちとが一丸となって新たな生活に向けて準備を進める中で、新たな「地域」の住民となることも意識し、何を発信し、何が提供できるのかも並行して検討していきます。



入所児童推移		
	令和5年度	令和6年度
入所児童数	2名	0名
退所児童数	6名	5名
年度末児童数	16名	13名

子育て支援事業等の利用実績 (実人数月平均)		
	令和5年度	令和6年度
一時保護	2.5人	1.7人
ショートステイ	0.8人	0.5人
トワイライトステイ	事業実績なし	0.4人



介護部レポート

富士楽寿園

*施設長：黒崎 昭彦



「ご利用者個々に寄り添った、より良いサービスの提供」という基本を常に掲げ、引き続き安心安全な生活の提供につなげてまいりました。成果のひとつとして、感染症のまん延防止があげられます。感染症をまん延させないための、感染対策委員会の実施、職員教育、スタンダードプリコーションの徹底、医療機関との連携などをさらに推し進めました。

経営面においては、運営が滞るようなことがないよう、介護部が一体的に連携し、稼働率を維持することで、適正な収益を確保しました。安定的な経営を維持することで、ご利用者の安心安全につなげました。併せて、サービスの質の向上においては、e ラーニングを活用し、時間や場所が制限されることなく勉強できる環境を整えたり、研究発表会を通して成果を確認するなど、人材育成を引き続き推し進めました。次年度以降は外部研修への参加にもさらに力を入れていきます。

人材の確保においては、日本人の雇用、育成は勿論ですが、外国人人材の雇用も併せて推し進めました。令和 6 年度はモンゴル国から介護人材を確保しました。令和 7 年度以降は他の国からもさらに雇用を推し進めていきます。人材の確保と併せて、I C T の活用による業務の効率化についても継続的に取り組み、業務の省力化や人材の定着につなげていきます。

地域共生の面では、地域の一社会資源としての役割を担うべく、イベントの開催などを通して地域や関係者とつながりの機会を設けました。地域包括ケアシステムの一翼を担うよう次年度以降も継続して取り組んでまいります。

利用者実績（月平均）

	令和 5 年度	令和 6 年度
入所者数	57.9 人	56.9 人
ショートステイ	23.0 人	23.2 人



介護部レポート

かたくら明和園

*施設長：黒崎 昭彦

「第二の我が家」のように暮らしていただくかたくら明和園をさらに深化させるべく、様々な取組を継続してまいりました。支援においては、ご利用者様の望む暮らしを追求するために、多職種、ご本人、ご家族にも参画していただくカンファレンスを重ね、サービスの質の向上につなげました。サービスを提供する職員においては、資格取得を目的とした研修や、受験に向けたサポートを行うなど、人材育成をさらに推し進めました。



安定的なサービス提供には適正な経営が礎となります。

入所待機者が減少傾向にある昨今においても、速やかな入所調整を行い、個々のニーズに即したサービス提供体制を整えました。難度の高いニーズに対してもどうすれば支援ができるのか協議を重ねました。その結果、高水準の稼働率を維持し、安定的な経営につなげました。

設備面においては経年劣化による修繕が増加傾向にあります。安心安全に暮らしていただく上でも修繕計画を策定し、補助金も活用させていただきながら、リフト付きシャワーキャリーと専用バスタブ、ガス給湯器などの入れ替えを行いました。

地域に向けた取組では、地域行事への参加を通したつながりや、様々なボランティア団体との協働などによるアウトリーチをさらに推し進めました。町内のサロンにも参加し、専門的な知識を提供できました。その他にも、障害者の作業場の提供や、若者の就労準備支援などを行いました。引き続き、様々なつながりを深め、協働、連携することで、地域包括ケアシステムの一翼を担うよう努めてまいります。

利用者実績（月平均）

	令和5年度	令和6年度
入所者数	28.8人	28.8人
ショートステイ	22.0人	27.0人



介護部レポート

■ デイサービスセンターふじみ台



*施設長：松本 知子

自立支援に取り組むデイサービスセンターふじみ台は、運動・活動・個別支援の3つの視点でご利用者のニーズに合ったサービスの提供を行いました。また、デイサービス利用の理由の一つに「入浴サービス」があります。そこで、自立支援に基づいた入浴サービスの提供を行うため、ふじみ台の浴室をご自宅に近い環境に改修しました。一人ひとりの身体状況に適した支援を行うことができるようになりました。

居宅介護支援事業所では、ご利用者・ご家族等の思いに寄り添った相談支援や介護サービス調整を行うとともに関係機関との連携強化を図りました。また、独居高齢者や8050問題等の相談支援も増え、職員の相談援助技術の向上のため各種研修に参加しました。

ふじみ台は開設して25年が経過しました。社会情勢の変化や多様化するニーズに対応するため、サービスの見える化と職員の専門性の向上に努め、在宅介護生活を支える事業所として安定的経営を目指します。

利用者実績（月平均）

	令和5年度	令和6年度
通所介護(予防)	14.8人	10.0人
通所介護(通所)	47.3人	40.3人
いきがいデイサービス	13.0人	14.1人
障害者基準該当	6.3人	6.0人



■ 富士市吉原中部地域包括支援センター

*施設長：松本 知子

地域包括支援センターでは、介護予防・日常生活支援総合事業における介護予防ケアマネジメント事業・包括支援事業等を実施しました。地域包括支援センターに寄せられる相談内容は、複雑化しており相談件数は年々増加しています。

また、地域ケア会議では独居高齢者についての話し合いが多く行われ、富士市の課題としても取り上げられています。地域の高齢者が安心して生活を継続していくことができるよう、地域における関係者とのネットワークを構築するとともに、心身の状況や生活の実態、必要な支援等を把握し、相談を受け、地域における適切な保健・医療・福祉サービス、機関等の利用につなげる支援を行いました。今後も、地域に根差した地域包括支援センターを目指していきたいと思います。

利用者実績

	令和5年度	令和6年度
総合相談	1,295件	2,201件
介護予防支援事業	2,034件	2,153件
介護予防ケアマネジメント	1,639件	1,481件



介護部レポート

多機能ホーム結

*施設長：松本 知子

結は、ご利用者の「できること」「やってみたいこと」を顔なじみの職員や他ご利用者と一緒にすることで、自立支援を行ってきました。また、多職種参加によるカンファレンスを通じ、ご利用者等の意向確認や各種情報共有を行いました。このことにより、個別支援方針が明確となり、ケアの統一とチームの醸成を図ることができました。さらに、職員の資格取得を中心とした研修の受講を計画的に行い、1名が介護支援専門員試験、2名が介護福祉士試験に合格しました。

経営面では適正な収益確保を第一に取組、収入と支出のバランスを意識した1年でした。介護部が一体となり、顧客のニーズや顧客確保等について検討した内容を運営会議で計画、実行、進捗管理をPDCAサイクルで行った結果、事業活動において収支差額を確保することができました。

地域貢献活動は、青葉台エリアにある小規模保育所つぐみ、居場所ちゃん、児童家庭支援センター・パラソルと共に行っています。なかでも5年ぶりに開催した餅つき大会は、地域の多世代の方々に参加していただきました。引き続き、地域にある事業所としてあるべき姿を模索しながら進めていきたいと思います。

開設10年の節目を迎えた結は、社会性・収益性の両立ができる地域密着型事業所として、さらに成長してまいります。



利用者実績（月平均）		
	令和5年度	令和6年度
登録者数	21.4人	21.2人
通い人数	348.9人	358.3人
訪問人数	33.5人	19.8人
泊まり人数	112.5人	112.3人



障害部レポート

富士和光学園

*施設長：田代 篤

富士和光学園では、「それぞれの個性・人格を尊重し、ご利用者様の自己実現を目指した支援を行います」という施設運営方針のもと、常にご利用者様の視点に立ち、質の高い生活の場の構築を進めてまいりました。その為に、富士和光学園の独自のスキルアップ研修を実施し、職員の資質向上を図りました。キャリアの違う職員間でも同じ支援提供ができるように、「課題に対するアセスメント研修」と「プラン提供の手順書作成研修」を行い、アセスメント表や手順書の作成・実践致しました。



シンワコウ方式アセスメントシート 等意向確認に伴い、「意思決定支援の土台作りと共にツール～シンワコウ方式アセスメントシート～を活用したケースマネジメント」を作成しました。今後は、すべてのご利用者様の意思をどのようにくみ取り、大きな意向選択（どこで、誰と、どのように生活していくのか等）小さな意向選択（身近な意向確認）を実現していくのか、障害程度が軽度な方の揺れ動く気持ちの支えや、重度の方の声なき声をご本人の意向として捉えいくのかを考えていく為のスタートを切ることが出来ました。

個別活動や余暇支援では、感染症対策を徹底した上で個々の希望に沿った目的地や活動内容から外出や外泊を実施することが出来ました。できる限りの小集団を構成し、外食内容や活動、時間の使い方など個別対応を念頭に余暇等を過ごしました。また、地域等との交流では、アートクラフトフェア、スポーツ交歓会、（株）エスパルスによるサッカー教室の参加、県立富士宮東高等学校とのハンドベル交流などさまざまな方と活動や交流を共にして、人との繋がりから地域の一員であることを実感いたしました。

今後も、一人ひとりの意思を尊重し、個別化されたコミュニケーション方法から日常の希望や要望～将来の望む姿をご利用者様と職員が一緒に考え、実現することが出来る施設を目指して参りたいと思います。

利用者実績（月平均）

	令和5年度	令和6年度
短期入所	22.9人	22.0人
日中一時	4.1人	2.7人



障害部レポート

富士本学園

*施設長：半澤 哲永

富士本学園では、「心理的安全性」を施設目標に職員間での活発なコミュニケーションを図り、協力しながらご利用者様への支援を提供してまいりました。また、前例に捉われない新しいことにチャレンジする気持ちを大切にすることでご利用者様にとっても新しい経験が増え、よりたくさんの笑顔を見ることができました。

地域公益的な活動として、千田先生はじめ学生ボランティアのご協力のもと「第13回アートDE富士」を富士市交流プラザで開催し63名の方が参加しました。また、職員が創意工夫を凝らした「秋祭り」を実施したり、個別外出として横浜へプロ野球観戦に行ったりと多くの体験をすることができました。

また、職員の実践として、年間を通して「意思決定支援」「強度行動障害」「介護技術」の3つのグループに分かれて研究を行ってきました。ご利用者様により良いサービスを提供するために様々な取り組みをしてきました。この実践は単年で終わることなく今年度も継続して行い更なるスキル向上に努めて参ります。その他にも、職員の資質向上については法人内部研修や外部研修に参加し、強度行動障害者支援者養成研修や虐待防止研修等を修了しました。

今後も、職員一人ひとりが変化を恐れずチャレンジすることでご利用者様の暮らしがより豊かになるよう取り組んで行きます。



利用者実績（月平均）		
	令和5年度	令和6年度
短期入所	63.3人	65.7人
日中一時	8.5人	12.1人



障害部レポート

そびな寮、あおぞら寮、中野・高山ホーム、チャレンジ

*施設長：半澤 哲永

そびな寮、中野・高山ホーム、あおぞら寮においては、自力で会社通勤や事業所への通所をされるご利用者様が多いグループホームという特性を活かすべく、ご利用者様の協力をいただきながら各感染症の予防に努め、「普段通りの生活」の場の提供を行ってまいりました。

また、自立に向けた支援では、仕事に通いながら生活の仕方や社会のルールを学ぶ機会として自治会や勉強会を開催するとともに、個別外出等の余暇支援といったワーク・ライフ・バランスの充実を図りました。ご利用者様からは「次の外出を楽しみに仕事を頑張ります」とのお声をいただきました。地域行事にも積極的に参加し、この地区で生活をする一員としての意識の高まりに繋がりました。

近隣の福祉事業所と合同で開催した「大淵ふくし秋まつり」は第2回を迎え、事業所以外にもキッチンカーやバザー等が出店した賑やかな時間を近隣住民の皆さんや事業所を利用されている皆さんと共にいたしました。大淵地区の秋の風物詩として定着するよう、次回開催に向けて力を込めてまいります。

チャレンジは就業・生活支援センターとして19年目となりました。難病を含めたすべての障害の方々が対象であり、医療機関とも連携し、仕事と生活の安定を目指して支援の強化に努めています。今後も地域で「基幹型」の機能を担い、就労における地域関係機関の支援ネットワークの強化、企業間のネットワーク構築、充実を図り「障害者雇用の理解・拡大」に向け事業を進めてまいります。

利用者実績（月平均）

	令和5年度	令和6年度
そびな寮	15.6人	15.6人
中野ホーム・高山ホーム	10.1人	10.0人
あおぞら寮	8.9人	9.0人

チャレンジ相談支援実績

	令和5年度	令和6年度
相談件数	3,267件	2,527件
総登録者数	784人	844人
新規登録者数	58人	66人
就職件数	52件	39件



障害部レポート

らいと・みらい・せふりー

*施設長：半澤 哲永

「サポートセンターくろーばー」を構成する「らいと」「みらい」「せふりー」の各事業所は、ご利用者の成長や生活、地域とのつながりなど、地域生活への貢献を目標として、拠点運営を行いました。また、「くろーばー」拠点として、3事業所および「居場所くろーばー」も含め、地域の福祉拠点として地域のみなさまに周知できるよう、隣接するかたくら明和園と共に地域活動の協働を進めました。今後も共同行事の開催など、より身近な地域の拠り所を目指してまいります。

「通所生活介護らいと」では、選択の機会を作るために外食・外出のほか、様々な生産活動や個の適性に合わせた活動など、支援・環境設定に努めました。ご家族からは毎日楽しく通えているなど声が聞かれ、利用実績を上げることが出来ました。サービス向上の取り組みとして、専門性を高めるための相談支援研修・強度行動障害支援者養成研修等を順次受講しました。

「放課後等デイサービスみらい」では、子どもたちの将来像を保護者の皆様とイメージし、必要な力を考えながら療育活動を提供しました。本年度は、公共交通機関の利用や外食など社会体験の機会を増やすことに力を入れました。運営面では、新規利用児童の受け入れや既存利用児童の利用日が増えたことから、前年度に比べ利用実績を上げることができました。

「相談支援事業所せふりー」では、障がいのある方やそのご家族が地域で安心して生活できるよう、多岐にわたる支援活動を行いました。日常生活の困難や課題について相談をうけ、サービス等利用計画を作成、適切な福祉サービスや関係機関との調整を行いました。さらに、地域の自立支援協議会の運営や課題整理を行い、地域の福祉サービスの向上に寄与しました。

利用者実績（1日平均）

	令和5年度	令和6年度
らいと	17.2人	18.5人
みらい	6.4人	7.6人

相談支援実績

	令和5年度	令和6年度
相談件数	7,574件	6,328件
計画作成数	232件	256件
モニタリング	559件	477件



2024 年度決算報告①

法人単位事業活動計算書 (自)令和6年4月1日 (至)令和7年3月31日 (単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益 児童福祉事業収益 保育事業収益 障害福祉サービス等事業収益 成年後見事業収益 経常経費寄附金収益	643,247,253 491,976,715 38,347,920 799,664,568 370,000 1,957,604	635,013,929 493,357,525 36,262,010 698,831,969 370,000 2,438,153	8,233,324 △ 1,380,810 2,085,910 100,832,599 370,000 △ 480,549
	サービス活動収益計(1)		1,975,564,060	1,865,903,586	
	費用	人件費 事業費 事務費 利用者負担軽減額 減価償却費 国庫補助金等特別積立金取崩額 徴収不能額	1,248,822,458 265,272,789 224,038,056 2,569,360 115,594,409 △ 54,648,523 14,640	1,210,957,778 267,542,991 223,443,282 2,281,316 117,102,204 △ 54,556,317 14,640	37,864,680 △ 2,270,202 594,774 288,044 △ 1,507,795 △ 92,206 14,640
		サービス活動収益計(2)		1,801,663,189	
		サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		173,900,871	
		サービス活動外収益		99,132,332	
		サービス活動外収益計(4)		74,768,539	
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益 受取利息配当金収益 その他のサービス活動外収益	21,280 288,550 17,090,873	31,920 31,881 13,325,206	△ 10,640 256,669 3,765,667
	費用	支払利息 その他のサービス活動外費用	1,503,303 5,230,456	1,215,063 5,603,467	288,240 △ 373,011
		サービス活動外収益計(5)		6,733,759	
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		10,666,944	
		経常増減差額(7)=(3)+(6)		184,567,815	
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		6,818,530	
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		△ 84,771	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益 固定資産売却益 その他の特別収益	6,344,000 30,000 505,820	1,814,300 30,000 8,745,594	4,529,700 30,000 △ 8,239,774
	費用	特別収益計(8)		6,879,820	
		固定資産売却損・処分損 国庫補助金等特別積立金積立額 その他の特別損失	477,016 6,344,000 17,510,207	395,242 1,814,300 2,209,542	81,774 4,529,700 17,510,207
		特別費用計(9)		24,331,223	
		特別増減差額(10)=(8)-(9)		△ 17,451,403	
		当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		8,350,352	
		当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		△ 25,801,755	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		1,017,905,288	980,432,516	37,472,772
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		1,185,021,700	1,094,485,677	90,536,023
	基本金取崩額(14)				
	その他の積立金取崩額(15)		54,477,719	16,932,735	37,544,984
	その他の積立金積立額(16)		146,013,099	93,513,124	52,499,975
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		1,093,486,320	1,017,905,288	75,581,032

2024年度決算報告②

法人単位資金収支計算書

(自)令和6年4月1日 (至)令和7年3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	介護保険事業収入	644,284,500	643,247,253	1,037,247
	児童福祉事業収入	483,455,000	491,976,715	△ 8,521,715
	保育事業収入	37,821,000	38,347,920	△ 526,920
	障害福祉サービス等事業収入	807,798,000	799,664,568	8,133,432
	成年後見事業収入	250,000	370,000	△ 120,000
	借入金利息補助金収入	27,000	21,280	5,720
	経常経費寄附金収入	1,598,000	1,957,604	△ 359,604
	受取利息配当金収入	297,000	288,550	8,450
	その他の収入	17,595,000	17,090,873	504,127
	事業活動収入計(1)	1,993,125,500	1,992,964,763	160,737
事業活動による支出	人件費支出	1,261,524,000	1,251,835,688	9,688,312
	事業費支出	269,981,000	260,995,390	8,985,610
	事務費支出	236,781,000	223,923,850	12,857,150
	利用者負担軽減額	3,638,000	2,569,360	1,068,640
	支払利息支出	1,519,000	1,503,303	15,697
	その他の支出	4,929,686	4,924,856	4,830
	流動資産評価損等による資金減少額	15,000	14,640	360
事業活動支出計(2)		1,778,387,686	1,745,767,087	32,620,599
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		214,737,814	247,197,676	△ 32,459,862
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	6,894,000	6,344,000
		固定資産売却収入	30,000	55,480
	施設整備等収入計(4)		6,924,000	6,399,480
	支出	設備資金借入金元金償還支出	13,141,000	13,141,000
		固定資産取得支出	77,898,200	77,424,435
		固定資産除却・廃棄支出	336,000	335,210
		ファイナンス・リース債務の返済支出	112,000	111,058
	施設整備等支出計(5)		91,487,200	91,011,703
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△ 84,563,200	△ 84,612,223
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	56,958,000	56,812,101
		その他の活動による収入		264,000
	その他の活動収入計(7)		56,958,000	57,076,101
	支出	積立資産支出	144,470,420	149,256,099
		その他の活動による支出	35,031,000	35,022,207
		その他の活動支出計(8)	179,501,420	184,278,306
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		△ 122,543,420	△ 127,202,205
	予備費支出(10)		5,100,000 △ 5,000,106	— 99,894
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		7,531,300	35,383,248	△ 27,851,948

前期末支払資金残高(12)	669,577,841	669,577,841	0
当期末支払資金残高(11)+(12)	677,109,141	704,961,089	△ 27,851,948

予備費支出△5,000,106円は その他の支出(利用者等外給食費支出)165,686円、積立資産支出(施設設備整備積立資産支出)4,834,420円に充当使用した額である。

2024年度決算報告③ 年間スケジュール

法人単位貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位:円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	767,798,173	743,108,118	24,690,055	流動負債	144,194,972	159,588,291	△ 15,393,319
現金預金	493,996,760	472,398,006	21,598,754	事業未払金	54,773,394	56,940,796	△ 2,167,402
未収金	270,062,220	267,306,153	2,756,067	1年以内返済予定借入金	12,674,000	13,252,058	△ 578,058
その他の流動資産	3,739,193	3,403,959	335,234	賞与引当金	68,683,888	72,805,956	△ 4,122,068
固定資産	2,796,399,296	2,728,870,867	67,528,429	その他の流動負債	8,063,690	16,589,481	△ 8,525,791
基本財産	1,573,802,196	1,646,445,935	△ 72,643,739	固定負債	206,452,219	217,652,305	△ 11,200,086
その他の固定資産	1,222,597,100	1,082,424,932	140,172,168	設備資金借入金及びリース債務	175,207,536	187,881,536	△ 12,674,000
土地	31,760,000	0	31,760,000	退職給付引当金	31,244,683	29,770,769	1,473,914
建物	8,371,042	7,595,115	775,927	負債の部合計	350,647,191	377,240,596	△ 26,593,405
構築物	51,845,276	57,747,153	△ 5,901,877	純資産の部			
機械及び装置	15,159,686	17,711,856	△ 2,552,170	基本金	531,769,849	531,769,849	0
車輌運搬具	13,643,967	4,402,513	9,241,454	国庫補助金等特別積立金	624,359,145	672,663,668	△ 48,304,523
器具及び備品	64,748,072	70,559,085	△ 5,811,013	その他の積立金	963,934,964	872,399,584	91,535,380
有形リース資産	0	111,058	△ 111,058	次期繰越活動増減差額	1,093,486,320	1,017,905,288	75,581,032
その他の積立資産	995,179,647	902,170,353	93,009,294	(うち当期活動増減差額)	167,116,412	114,053,161	53,063,251
その他の固定資産	41,889,410	22,127,799	19,761,611	純資産の部合計	3,213,550,278	3,094,738,389	118,811,889
資産の部合計	3,564,197,469	3,471,978,985	92,218,484	負債及び純資産の部合計	3,564,197,469	3,471,978,985	92,218,484

年間スケジュール

	【児童】	【介護】	【障害】
4月	5日 法人さくらまつり 8日 花まつり	5日 法人さくらまつり 8日 花まつり 29日 ふ：ミステリーツアー	5日 法人さくらまつり 8日 花まつり
5月	19日 法人植花祭 岩：クリーンウォーク・BBQ	19日：法人植花祭	19日：法人植花祭
6月		3日 楽：開園記念行事 28日 ふ：フラダンス鑑賞	17日 和：富士宮東高等学校交流会
7月	つ：七夕	3日 ふ：エスパルス機能訓練 20日 か：片倉地蔵尊まつり	和：七夕
8月	少：玉泉寺夏祭り 少・岩：県養協夏季スポーツ交流会	9日 児童クラブ交流会 22日 結：夏祭り	12日 そ：夕涼み会バーベキュー
9月		8日 か：敬老会 16日 楽・ふ：敬老会	7日 和・富：アートDE富士
10月	つ・パ・結：地域イベント「縁日」	つ・パ・結：地域イベント「縁日」	16日 富：秋祭り
11月	10日 法人観音祭り 少：興亜祭り出店	10日 法人観音祭り	10日 法人観音祭り
12月	少・岩：県養協オセロ大会 少・岩：クリスマス会 つ：パ・結：餅つき大会	4日 ふ：エスパルス機能訓練 18日 か：クリスマス会・忘年会 26日 か：富士山女子駅伝応援企画 地域清掃	10日 法人観音祭り 11日 富・和：スポーツ交歓会 24日 そ：大渕クリーン作戦
1月	少・岩：県養協冬季スポーツ交流会	14日 ふ：どんど焼き 蔓玉づくり	
2月		5日 ふ：エスパルス機能訓練	24日 和：JATCO地域貢献活動
3月	岩：卒園卒業を祝う会	26日 結：いちご狩り	
	岩：岩倉学園 少：誠信少年少女の家 パ：パラソル ふ：ふじみ台 結：多機能ホーム結 富：富士本学園	つ：つぐみ 楽：富士楽寿園 か：かたくら明和園 和：富士和光学園 そ：そびな寮 く：くろーばー	

ボランティア・寄付 (令和6年6月1日～令和7年5月31日)

ボランティア

※順不同・敬称略

赤渕 淳	大谷 美恵子	杉田 弘子	秋山 芳男
赤渕 灯子	吉村 千尋	勝亦 理香	渡邊 武志
モニカ小林	チャッキリ夢恋人	ジヤトコ(株)	ふれあい一座
ティータイム	川島 美恵子	長谷川平左衛門	内海 紀代美
NPO法人 青少年就労支援ネットワーク			静岡県立富士宮東高等学校
富士市立吉原北中学校吹奏楽 有志の皆様			富士市立大渕中学校 有志の皆様
富士市若者相談窓口ココカラ(就労支援ネットワーク静岡)			静岡県立富岳館高等学校ボランティア部

寄付

※順不同・敬称略

齊藤久江	興亞工業(株)	日本鏡餅組合 理事長 樋口元剛
(株)Live 代表取締役社長 和田将宏	佐野彰彦	望月夕子
いなば食品(株)	佐野欣也 紘子	杉山孝文
ほっともっと	全国シャンメリーア協同組合	杉山順次
みんながサンタさんプロジェクト2024 山崎菜里	公益財団法人 日本漢字能力検定協会 普及企画部普及促進課	林正寺
アスト(株)	公益財団法人 毎日新聞東京社会事業団	柚木子ども会
アズフィット(株)	公益財団法人 那須記念財団	(株)山清倉庫
アフラック生命保険(株)	勝亦早苗	(株)昭和自動車学校 代表取締役 齊藤貴宣
ジヤトコ(株)	勝亦照子	(株)秋山オート商会
トヨタユナイテッド静岡(株)	北里コーポレーション 代表取締役 井上太綏	(株)ニッポン手仕事図鑑
ドミニピザ 富士駅店	吉村とも子	(株)丸鈴
パン工房 ハイホー	圓妙寺	海野様ご家族様
フィリップモリスジャパン合同会社 大西伸幸	大久保賢治	渡邊靖夫
マルハン吉原店	(有)仁藤石材工業	社会福祉法人 朝日新聞厚生文化事業団
マルハン荒田島店	大川輝久	秋元久美子
モリス(株) 代表取締役 山本信一	宮下和美 山田賢一	美栄堂
(株)グランドリサーチ 井奥 猛	富丘佐野農園(株) れっどばーる 代表 佐野真史	佐野公章
(株)シンエイ	富士中央ライオンズクラブ	舟木あやこ
(株)フルベール館 コンテンツ事業部 出版マーケティング部CSチーム	富士宮第四中学校「福ろう製作所」	花王(株) 社会貢献部
(株)日立製作所内 (社)親切会中部支部	富士市社会福祉協議会	若林俊也 久恵
(株)松野精肉店	富士製パン(株)	落合 徹
一般財団法人 みらいこども財団	小倉 歩	認定NPO法人 グッドライフ
一般財団法人 日本レコード協会	小麦の奴隸 沼津店	速水康太
一般財団法人 日本児童養護施設財団	後藤和成	遠藤 智 政子
伝心寺	後藤晶子(ミステリーサークル所属)	鈴木みちこ
佐野ふじ江	日本出版販売(株) 静岡支店内静岡日販会	鈴木由美
門司一徹	静岡県遊技業協同組合	鍋田 哲也 聰美 茉歩
駿河ボクシングジム	高野悟士	長島 巧
		馬場昌子
		(株)田子の月



雇用形態

292 人



正規職員 182 名 (62%)
非正規職員 110 名 (38%)

性別

71 人



男性

221 人

女性

(24.3%)

(75.7%)

職員の平均年齢

45.1 歳



10～30代 123 名／40～60代 141 名
70～90代 28 名

職員の平均勤続年数

9.7 年



0 年～182 名／10 年～69 名
20 年～ 32 名／30 年～ 9 名

資格保持者数

178 人



(延べ人数)

介護福祉士 54 名／社会福祉士 35 名／保育士 50 名
ケアマネージャー 12 名／精神保健福祉士 2 名
看護師 12 名／管理栄養士 4 名／栄養士 6 名
作業療法士 1 名

外国人労働者数

7 人



インドネシア 3 人／ミャンマー 2 人
モンゴル 1 人／フィリピン 1 人

育児休業取得者数

7 人



男性 0 名／女性 7 名

有給休暇平均取得日数

11.0 日



年平均取得率 64.0%
(取得日数／付与日数)

2025 年 3 月 31 日時点



社会福祉法人 誠信会

法人本部 富士市比奈1354 TEL.0545-38-1941

